

リテールマーケティング（販売士）３級 検定試験 実施要項 施行日 平成31年2月20日（水）/試験会場 一宮商工会議所

《試験科目・制限時間・合格基準》

試験科目		制限時間	合格基準
◆筆記試験		100分	筆記試験において、平均70点以上で、 1科目ごとの得点が50点以上であること。
科目	①小売業の類型	20分	
	②マーチャндаイジング	20分	
	③ストアオペレーション	20分	
	④マーケティング	20分	
	⑤販売・経営管理	20分	

〔注〕 筆記試験の答案用紙はマークシートです。
 試験開始時間は、午前9時30分です。
 受験資格として、学歴、年齢、性別、国籍に制限はありません。

《試験に持参するもの》

身分証明書（運転免許証・パスポート・学生証）受験票、
 黒鉛筆（硬度はHB又はB）及び消しゴム、算盤・電卓等の計算用具

《試験科目の一部免除について》

★申込み時に「証明書」を提示してください。

販売・経営管理 ・「販売士養成講習会」または「養成通信教育講座」の修了者
 ただし、販売士養成講習会の場合には予備試験に合格した方、
 養成通信教育講座の場合には、全課程を履修し、スクーリングを修了
 された方に限ります。

*指定通信教育講座は次の4機関です。

- ①(社)日本販売士協会 ②(社)公開経営指導協会
 ③(学)産業能率大学 ④(社)日本経営協会

※(財)全国商業高等学校協会主催による「商業経済検定試験」に合格した方は、
 直後2回の筆記試験の科目の一部が免除されますので、本所まで申し出てください。

リテールマーケティング（販売士）2級検定試験 実施要項

施行日 平成31年2月20日（水）/試験会場 一宮商工会議所

《試験科目・制限時間・合格基準》

試 験 科 目		制限時間		合 格 基 準
◆筆記試験		1 5 0 分		筆記試験の得点が、 平均70点以上で、 1科目ごとの得点が 50点以上であること。
科 目	①小売業の類型	3 0 分	6 0 分	
	②マーチャダイジング	3 0 分		
	③ストアオペレーション	3 0 分	9 0 分	
	④マーケティング	3 0 分		
	⑤販売・経営管理	3 0 分		
	《 途中、休憩あり 》			

〔注〕 筆記試験の答案用紙はマークシートです。

前半の試験開始は13時00分からです。後半の試験開始は14時40分からです。

受験資格として、学歴、年齢、性別、国籍に制限はありません。

《試験に持参するもの》

受験票、身分証明書（運転免許証・パスポート・学生証など）黒鉛筆（硬度はHB又はB）
及び消しゴム、算盤・電卓等の計算用具

《試験科目の一部免除について》

★申込みに「証明書」を提示してください。

販売・経営管理 ・販売士通信教育講座修了証明書（スクーリングを修了したもの）
・販売士養成講習会修了証明書（免除科目が明記されているもの）

*指定通信教育講座は次の4機関です。

- | | |
|-------------|--------------|
| ①（社）日本販売士協会 | ②（社）公開経営指導協会 |
| ③（学）産業能率大学 | ④（社）日本経営協会 |

リテールマーケティング（販売士）検定試験 1級実施要項

施行日 平成31年2月20日（水）/試験会場 一宮商工会議所
 ≪試験科目・制限時間・合格基準≫

試 験 科 目		制限時間		合 格 基 準
◆筆記試験		2 0 0 分		筆記試験の得点が、平均70点以上で、1科目ごとの得点が50点以上であること。
科 目	①小売業の種類	4 0 分	1 2 0 分	
	②マーチャндаイジング	4 0 分		
	③ストアオペレーション	4 0 分		
	④マーケティング	4 0 分	8 0 分	
	⑤販売・経営管理	4 0 分		

※途中、休憩あり

≪試験に持参するもの≫

受験票、黒鉛筆（硬度はHB又はB）、消しゴム、算盤・電卓等の計算用具

≪試験科目の免除について≫

- ・受験の申込み受付時に、必ず「証明書」を提示してください。
- ・前回あるいは前々回の試験で、一部の科目について合格レベル（筆記試験は70%以上、面接試験は合格）以上の成績を得た方は、今回の検定試験では、その科目が免除されます。
- ・免除科目の問題に解答した場合は、採点対象となります。科目免除の措置は適用されませんので、注意してください。

≪注意事項≫

- ・答案用紙は、各科目とも客観式問題の答案用紙と記述式問題の答案用紙です。
- ・前半の試験開始時刻は、9時30分です。後半の試験開始時間は、13時00分です。
- ・「試験開始時刻」は、受験上の注意事項等の説明開始時刻を指します。
- ・受験資格として、学歴・年齢・性別・国籍に制限はありません。

≪答案記入上の注意≫

- ・答案用紙はHBまたはBの硬度の鉛筆で所定の欄をはっきりと記入してください。（HBまたはB以外の硬さの鉛筆あるいはボールペン、万年筆等の筆記用具を使用した場合は無効となります。）
- ・一つの設問について、複数の答を選択した場合は無効となります。

記述法による問題の注意事項

記述法の問題は、問題文の中に回答すべき内容あるいは解答の留意事項を指示してありますから、それに従って解答してください。指示に従わないで解答した場合は無効となります。

計算法による問題の注意事項

計算法の問題は、計算式または計算結果（答）、あるいはその両方を解答するよう留意事項として指示してありますから、それに従って解答してください。指示に従わないで解答した場合は無効となります。